

公民館かながわ



目次

平成29年度 生涯学習指導者研修 「公民館担当者コース」 事業報告	2・3
平成29年度 館長・公民館運営審議会 委員等研修会	4
第59回 神奈川県公民館大会	5
サークル紹介 『綾瀬マンドリンクラブ』 (綾瀬市)	6
『伊勢原みちのく会』 (伊勢原市)	
川崎市スポーツ・ 文化総合センター 「カルッツかわさき」	7
平成29年度 「公民館実態調査」	8
平成30年度総会	8
編集後記	8

**平成29年度
生涯学習指導者研修
「公民館担当者コース」
事業報告**

平成29年度生涯学習指導者研修「公民館担当者コース」が、5月25日から11月30日までの間、計5回にわたり、「生涯学習・社会教育の地域拠点としての公民館のあり方と職員の能力の向上」をテーマに開催されました。
この研修は、県教育委員会と県公連との共催事業です。

今年度も、昨年度に引き続き、各教育事務所の社会教育主事によるアイスブレッキングの講義と参加者交流を行いました。実際に活動を体験することで、アイスブレッキングの手法を学ぶとともに、参加者同士が打ち解けて、その後の事例発表や情報交換が、和やかな雰囲気の中で、より活発なものになりました。
延べ144名の参加があり、どの回も、意欲的に話し合いに臨み、積極的にワークショップに励んでいる姿が見られました。

《第1回 基礎編》

5月25日(木)

会場 かながわ県民センター

○講義と意見交換「生涯学習・社会教育関係職員の果たすべき役割」

早稲田大学教授

村田 晶子氏

○情報提供「神奈川県生涯学習審議会について」

県教育委員会教育局

生涯学習課

副主幹

白川 律男氏

○講義「地域学校協働活動の推進について」

文部科学省生涯学習政策局

社会教育課

地域学校協働推進室長

副主幹

渡辺 栄二氏

○講義「地域とともにある学校づくりと学校運営協議会」

小田原市立曾我小学校

運営協議会会長

副主幹

長田 尚夫氏

《第2回 実務編》

A 6月14日(水)

会場 玉縄学習センター分室

○「即、学級・講座に使えるアイスブレッキング」

湘南三浦教育事務所

社会教育主事兼指導主事

副主幹

都 浩一氏

県央教育事務所
社会教育主事兼指導主事

副主幹

藤沖 亮氏

○事例発表「未来につなげる地域がつながるこどもまつり」

厚木市立相川公民館

主幹

高橋 功氏

副主幹

梅原 清子氏

○事例発表「地域でつくる職業体験『ぶちなでしこ』」

平塚市立なでしこ公民館主査

副主幹

高橋 崇氏

○先輩から学ぶ「社会的課題と高齢者・青少年の学習支援」

相模原市立東林公民館館長

(神奈川県公民館連絡協議会副会長)

副会長

渡邊 亮氏

○情報交換「今年度の一押し事業と講師情報について等」

B 6月29日(木)

会場 おだわら市民交流センターUMECO

○「即、学級・講座に使えるアイスブレッキング」

中教育事務所

社会教育主事兼指導主事

副主幹

小菅 聡子氏

県西教育事務所
社会教育主事兼指導主事

副主幹

露木 光人氏

○事例発表『自己実現』から生まれる年輪の構築」

藤沢市六会市民センター

公民館地域担当

副主幹

あかね氏

藤沢市六会公民館
事業推進員 服部 悦子氏



○事例発表「地域とともに育む子ども会く地域教育力を活かした子ども会活動の取り組み」
(秦野市立南が丘公民館)
南が丘元気っ子クラブ
子ども会

会長

竹内 房枝氏

副会長

溝口 雅之氏

○先輩から学ぶ
座間市立東地区文化センター
主事兼社会教育主事

植松 賢也氏

○情報交換「今年度の一押し事業と講師情報について等」

《第3回 実務編》

9月6日(水)

会場 相模原市立小山公民館

○情報提供「神奈川県公民館連絡協議会について」

県教育委員会教育局

生涯学習課(県公連事務局)
主査兼社会教育主事

副主幹

鈴木 智久氏

○人権教育講話「自分も相手も大切にするアサーティブコミュニケーション」

アサーティブジャパン
認定講師

中野 満知子氏
○講義とワークショップ「人に伝
わるチラシの作り方」

合同会社 MACARON
クリエティブデザイナー
谷 浩明氏

《第4回 実践編》

11月30日(木)

会場 神奈川県立図書館

○情報提供「子どもを取り巻く
様々な問題」

県民局子ども家庭課
児童養護グループ
稲葉 史恵氏

副主幹
○事例発表「川崎市の学校と地域の連
携」地域の寺子屋事業の実践を通
じて」

川崎市教育委員会
生涯学習推進課指導主事
長嶺 祐介氏

○事例発表「予防的支援としての
高校内居場所カフェ」『ぴっかり
カフェ』について」

NPO法人パノラマ代表理事
石井 正宏氏

○情報提供「PLANETかなが
わの紹介と活用について」

県立図書館
生涯学習サポート課
主査 工藤 敏彦氏

○講義とワークショップ「魅力ある
講座のつくりかた」

全国公民館連合会

事務局次長

村上 英己氏

研修後のアンケートより

○講義と意見交換「生涯学習・社
会教育関係職員の果たすべき役
割」

「社会教育の基本を学ぶ事ができ
ました。また同じテーブルの方と
の情報交換で、他都市の状況を知
る事ができました。」「社会教育が
出来た背景、やる目的が分かり、
いろいろなアイデアが浮かんだ。
また、他団体の職員と話せてよか
った。様々な課題を解決しながら、
よりよい地域をコーディネートし
ていきたい。」

○講義「地域学校協働活動の推進
について」

「国の施策から、地域学校協働活
動の推進への道すがりがよくわか
りました。様々な実践を参考にした
と思います。」「現在動き出して
いる学校運営協議会のある学校
(コミュニティ・スクール)等と
の関連を考えたり、学校、地域へ
の啓発を考えたりする良い機会に
なつたと思います。」

○講義「地域とともにある学校づ
くりと学校運営協議会」

「自分の地域の良い所は確実にあ
ると、講義を聞いて思った。地域
のつながりの大切さを再認識し
た。」「コミュニティ・スクールの
大切さ、郷土愛の大切さについて
再確認させられました。」

○講義と参加者交流「即、学級・
講座に使えるアイスブレイキン
グ」

「同じグループの人とすぐに打ち
とけることができ、会場、グルー
プでの居心地のよさを感じ取るこ
とができた。」「初めて顔を合わせ
る人達とも、スムーズにことばが
交わせるようになる、楽しい時間
でした。」

○情報提供「神奈川県公民館連絡
協議会について」

「公民館の歴史を聞き、社会教育
をあらためて考えられた。最後に
あつた、地域・住民にとつて、必
要な学習は何かという視点を持つ
ということを意識していきたいと
思います。」「公民館の基本的な知
識を説明され、分かりやすくよか
つた。」

○人権教育講話「自分も相手も大切に
するアサーティブコミュニケーション」

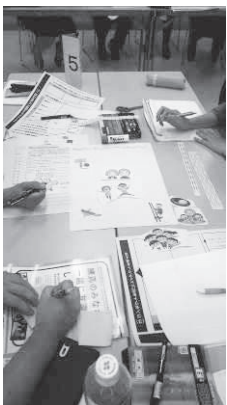
「自分自身のコミュニケーション
における苦手なことがわかり、日
頃のコミュニケーションの仕方を
見直す良い機会となりました。」

「改めて日常のコミュニケーション
を振り返るとできていない部分
があると気づかされました。さつ
そく活用したいと思います。」

○講義とワークショップ「人に伝
わるチラシの作り方」

「チラシを作り始める前の準備が
いかに大切か、ワークショップを

通して実感することができました。
今後のチラシづくりを生かしてい
きたいです。」「1つのチラシにつ
いて、これほど深く考えて作った
ことがなく、貴重な経験でした。
また、多人数で話し合い、想像力
をはたらかせて考えていくことで、
よりよいチラシ、人に伝わるチラ
シになることを学びました。」



○事例発表

「地域一体となつた寺子屋事業は
素晴らしいと思う。地域の実情、
ニーズに合つた取組である。」

「大変興味深く、参考になつた。
事業の計画や中高生との接し方、
公民館の運用について考えさせら
れた。」

○講義とワークショップ「魅力ある
講座のつくりかた」

「魅力ある講座とはという観点で、
公民館の弱み、強み、魅力をワー
クショップと事例を交えながらお話
を聞けて、とても勉強になつた。」

「豊富な事例が参考になりました。
予算がなくても、地域や各団体をう
まく活用して、様々な仕掛けが作れ
そうです。」

(文責 公民館経営・研修部会)

平成29年度 館長・公民館運営審議会

「公民館設置構想から70年。公民館は何をめざすのか？」

「住民の学び・地域と学校との絆を深め、

「地域創生」に貢献する公民館へ」

平成29年度館長・公民館運営審議会委員等研修会が、11月9日（木）に、川崎市幸市民館で開催されました。

今年度の人権講話では、多文化共生をテーマに、川崎市ふれあい館における外国につながる子どもへの学習支援等の取り組みについて講話をお願いしました。

講演会では、公民館の原点にかえり、公共的・社会的課題の学習を行わなくてはならないことを学びました。参加者は131名。

「人権講話」

「多文化共生社会において

公民館が求められていること」

社会福祉法人 青丘社

理事・事務局次長 原 千代子氏

川崎市ふれあい館設立（1988年）の背景として、ふれあい館のある川崎区が外国人集住地域であることや、多文化共生政策として「川崎市外国人教育基本方針」（1986年）が制定されたことなどが挙げられました。

ふれあい館は、日本人と韓国・朝鮮人を主とする在日外国人の触

れあいを目的に設置されましたが、マイノリティの視点を捉えながら、高齢者や障害のある人の課題などについても、個別性尊重の実践を行ってきたことが説明されました。



「外国につながる子どもたちのための学習サポート」事業の事例では、学習支援はもろろんのこと、時には相談相手になるなど、「居場所感」の保障が大切であるとの話が印象に残りました。

だれもが力いっぱい生きていく

ために、地域の様々な声に寄り添いながら、「共に変わること」が大切であるとして結ばれました。

【講演】

「公民館設置構想から70年。

公民館は何をめざすのか？」

青山学院大学 教育人間学部

教授 鈴木 眞理氏

はじめに、社会教育への原理的な理解がなくなってきたことへの危惧が述べられました。

「生涯学習支援の一環として社会教育がある」という、生涯学習と社会教育の概念の違いや、社会教育は学校教育とは違う形の教育であるということ、社会教育の関係者がしっかりと理解しなくてはならないとの話がありました。

戦後の公民館は、地域課題をみんなで考える場でしたが、「生涯学習」概念の広がりとともに、「地域課題の解決」が後退し、公民館が「楽しい館（やかた）」に変わってきてしまったことや、その結果として、行政が税金を投入する必要はないとの論調になっていると説明されました。

これからの公民館は、戦後の原点にかえり、公共的・社会的課題についての学習を、きちんと自信を持って行っていくことしかない」と力説されました。

学習の成果についても、成果が個人に帰属するものなのか、集団

や地域、社会に帰属するものなのかの違いがあるとし、他の人のためになり、みんなが共有できる成果でなければ、行政が支援する意味はないとのお話は説得力のあるものでした。



有料化については、前述のとおり、公民館は地域課題をみんなで考える場であり、本来、お金を払うという発想自体ないが、「楽しい館」ならば受益者に負担をしてもらうということになるとの話がありました。

結びには、「人」が重要であるとして、社会教育の関係者が、互いに話し合い、理解し合うことで、一人ひとり仲間を増やしていくことしかないとなりました。

（文責 公民館経営・研修部会）

第59回神奈川県公民館大会

テーマ

「公民館構想から70年。
公民館は何を目指すのか？」
「住民の学び・地域と学校との
絆を深め、「地域創生」に貢献
する公民館へ」

◇日時

平成30年1月25日(木)
13時00分～17時00分

◇会場

藤沢市湘南台文化センター

市民シアター大ホール
「本大会では、公民館活動の原点を学び、公民館のあるべき姿を探求し、公民館が果たすべき役割について考えます。」という趣旨のもと、県内各市町村公民館等職員、社会教育関係者など約280名が参加し、盛大に開催されました。

◇アトラクション

大会参加者を歓迎するため、藤沢市の在勤・在学・在住者を中心に、藤沢市のPRと活性化を目的に結成された、「太鼓集団『ふじ』」による力強い和太鼓演奏が行われました。

その後、鶴沼小学校PTAコーラスから始まり、現在は、合唱好きな仲間が集まるコーラスサークル「鶴沼エコー」による素敵な合唱が行われました。



◇大会式典・表彰式

コーラスサークル「鶴沼エコー」と参加者一同による「公民館の歌」斉唱で始まり、森政則副会長による開会のことば、木下敬之会長と藤沢市教育委員会平岩多恵子教育長の主催者あいさつ、各種表彰に続き、藤沢市宮治正志副市長と神奈川県教育委員会教育局長井聡明生涯学習部長から御祝辞をいただきました。



○神奈川県公民館連絡協議会表彰
【優良公民館表彰】

川崎市高津市民館橋分館
相模原市立東林公民館
平塚市立須賀公民館
厚木市立厚木南公民館
厚木市立森の里公民館
【職員等功績表彰】
植松 賢也(座間市立東地区文
化センター)

【永年勤続表彰】

新田 淳(川崎市中原市民館)
桐生 崇(横須賀市生涯学習セ
ンター)
阿部 一乃(藤沢市立村岡公民
館)
柳 幹子(大和市林間学習セン
ター)

◇講演

「人とひと 学びと暮らしをつな
ぐ公民館」を改めて公民館の原
点に学び、これからの活力ある
公民館を目指す」



○RE Learning(リ
ラーニング)
代表 秦野 玲子氏

秦野氏からは、「公民館のなり
たち」から「新しい社会教育の出
発」「公民館のこれから」と、公民
館の歴史を辿りながら、今後の公
民館の役割についてご講演いた
されました。途中、演習を通し
て、参加者一人ひとりが、公民館の役
割・機能について考える場面もあ
りました。

◇会旗引継

大会の最後に、藤沢市教育委員
会平岩多恵子教育長から木下会長
へ、木下会長から次期開催地の平
塚市教育委員会吉野雅裕教育長へ
会旗が引き継がれ、渡邊亮副会長
による閉会のことばで締めくく
られました。

なお、第60回神奈川県公民館大
会は、平成31年1月18日に平塚市
中央公民館大ホールで開催されま
す。





サークル紹介

『綾瀬マンドリンクラブ』

綾瀬市立中央公民館

綾南地区センター

「綾瀬マンドリンクラブ」は、マンドリン演奏経験者を中心に地域の方を広く募って結成されたサークルで、30数年前に活動を開始しました。

現在のメンバーは25人で、市民文化祭、公民館祭り、高齢者施設、老人会などで、年間10回ほどの演奏会を行っています。

演奏会にはマンドリンオリジナル曲をはじめ、クラシック、軽音楽、歌謡曲、童謡、民謡などさまざまなジャンルの曲を演奏し、楽しんでいただいています。

合奏練習は、皆が集まれる毎週土曜日の夜、綾南地区センターで楽しく行っています。

県内にも、多くのマンドリンサークルがあり、これらのサークルが一堂に会してお互いの演奏を聴きあう「神奈川マンドリンフェスティバル」が毎年開催され、30数年続いています。

私たちのクラブも最初から連続で出場し、同じ趣味の仲間たちと音楽を楽しみ、このほど、30年の区切りとして、当クラブの全て

の演奏曲目を収めたCDを作成しました。
曲数は全60数曲にもなり、CD5枚にもなりました。当初からのメンバーはもとより、途中から入られた仲間も、楽しく懐かしく聞くことができました。「神奈川マンドリンフェスティバル」全体の演奏曲目は30年間で800曲以上にもなっています。



当クラブでも、他のサークルと同様に高齢化が進み、老眼鏡をかけている者がほとんど。強いメガネでは指揮者の動きがボケ、弱いと譜面が見にくいなど悩んでいます。しかし、合奏には、お互いカバーしあえる良さがあります。これからもお互いにカバーしあいながら、演奏を楽しんでいきたいと思っています。

(代表 新井 義明)

『伊勢原みちのく会』

伊勢原市立中央公民館

「伊勢原みちのく会」は競技かるたの会で、元かるたクイーン(女性日本一)の今村美智子さんによって作られました。「みちのく会」という名前は、今村さんの好きな札「みちのくのしのぶもぢぢりたれゆゑに乱れそめにし我ならなくに」からきています。

競技かるたは、百人一首の100枚の札のうち50枚を使い、それぞれ25枚ずつ自分の前に3段に並べ、自分の陣の札を取ったときは1枚減り、相手の陣の札を取ったときは、自分の陣から相手の陣へ札を1枚送ることができ、自分の陣の札がなくなつたほうが勝ちというものです。1枚の札を互いに相手よりも早く取るうとして、指と指が強く接触するような激しさもあり、集中力、体力も必要なことから「畳の上の格闘技」とも言われていますが、年齢・性別に関わらず楽しめるという側面もあります。

会の発足は1991年(平成3年)で、それ以来ずっと中央公民館で原則土曜日の午後活動しています。活動内容は1対1の試合形式の競技かるたの練習です。1試合1時間強かかり、1日3試合取っています。全国大会(競技人口が少ないので予選がなくていきなり全国大会です)で、優勝し、A級(4段)になった会員もいます。また、毎年1月に市立図書館で行われる「百人一首かるた大会」や市内の中学校で行われる「百人一首大会」にも指導者として関わり、子どもから大人まで、伝統文化に親しんでもらっています。



試合形式の練習風景

現在、「伊勢原みちのく会」には、下は小学校5年生から上は70歳まで、幅広い年齢層の会員がいます。映画化もされたかるた漫画「ちはやふる」の影響で、競技かるたを始める若い人も増えてきました。創設者の今村さんは10年程前に故郷に帰りましたが、長くいる会員が今村さんの教えを新しい会員に伝えていっています。

(代表 梅都 満知子)

スポーツと文化芸術の複合施設
川崎市スポーツ・文化総合センター

「カルッツかわさき」誕生

平成29年10月1日、川崎区にある富士見公園の一角に、体育館とホールを備えた新しい複合施設「川崎市スポーツ・文化総合センター」（愛称「カルッツかわさき」）が誕生しました。この施設は、富士見周辺地区整備基本計画に基づき、旧川崎市体育館及び周辺地域の整備事業として建設されました。

川崎駅から交通至便な立地を生かし、旧体育館や教育文化会館大ホールの機能を引き継ぎながら、スポーツや文化、レクリエーション等の活動に加え、各種大会や集会などの多目的な市民の活動に対応できる施設となっています。

また、施設面の特徴として、段差のない外構構造、集団補聴システムの設定、ピクトグラムを活用等、すべての人々に対応するユニバーサルデザインの実施、環境面への配慮として、再生可能エネルギー等の積極的な活用や、ビルエネルギー管理システムを導入しエネルギー消費の見える化などを行っています。

愛称は、全国から応募のあった作品の中から、選考委員会で4点に絞り、市民による投票で、最も

得票数が多かった「カルッツかわさき」に決定しました。これは、市内の中学生が、「スポーツとカルチャーを足して、心弾む軽やかな響き」をイメージして考案したものです。

「カルッツかわさき」は、大きく3つのエリアに分かれています。

スポーツエリア

○大体育室（1,952㎡）
1,512席の観覧席を有し、スポーツのほかイベント・興行に利用できます。



収納式のロールバックチェアを出した大体育室

○小体育館（994㎡）
練習や小規模の試合、レクリエーションやイベントでの利用に適しています。
○弓道場
7人立で和弓・アーチェリーの専用施設です。

○武道室（329㎡×2面）
畳敷きから剣道仕様のフロアリングに変更できます。

○研修室（137㎡×2室）
研修、講演会、会議等のほか、バレエ、ヨガ等に利用できます。

○トレーニング室（257㎡）
トレーニング機器が設置され、スタッフによる相談、指導が受けられます。

○ホール
2,013席を有するシェーパルクス型のホールです。優れた音響性能とオーケストラピットを備え、クラシックからミュージカルまで幅広い利用が可能です。

ホールエリア

○音楽練習室（53㎡・38㎡）
アップライトピアノを備え、楽器や合唱の練習等に利用できます。

○音楽練習室（53㎡・38㎡）
アップライトピアノを備え、楽器や合唱の練習等に利用できます。

○音楽練習室（53㎡・38㎡）
アップライトピアノを備え、楽器や合唱の練習等に利用できます。

共用施設エリア



2,013席を有するホール

○会議室

- ・ 大会議室（98㎡×4室）
- ・ 中会議室（70㎡×3室）
- ・ 小会議室（和室40㎡）

イベント時の控室のほか、各部屋はパーティションで広さを変えられることができ、会議や研修、サークル活動等、人数や用途に合わせて、多彩な利用が可能です。

※ 施設概要 ※

敷地面積 13,230㎡
延べ面積 25,423㎡
構造 地上鉄骨造、地下鉄筋コンクリート造

事業手法 PFI・BOT方式
地下1階地上4階

平成29年度 「公民館実態調査」

平成29年度「公民館実態調査」については、県内市町村の協力のもと、無事作成することができ、厚く御礼申し上げます。

前回平成24年度調査では、公民館161施設、類似施設33施設、計194施設の情報を掲載しましたが、今回は、公民館157施設、類似施設104施設、計261施設と大幅に施設数も増え、より充実した内容にすることが出来ました。詳細は報告書をご覧いただきたいと思いますが、一部を紹介します。

利用状況は、団体による利用件数・利用者数共減少していますが、主催事業の参加者数は増えており住民ニーズの高さがうかがえます。管理運営に関しては、全体として、管理費は増えていますが、事業費が減っている施設が多くなっています。

職員は、正規専任職員が調査のたびに減少しており、非常勤職員を含め、職員総数が減少しています。

公民館運営審議会は、平成11年の社会教育法の一部改正で、任意設置になりましたが、4市1町で設置があり、代替審議会は7市3町で設置されていました。

視聴覚機器等は、メディアの変化に伴いDVDやブルーレイ等のデジタルプレイヤーの設置が大幅に増加していました。図書については、取り扱いが自治体によって、かなりの違いがあ

りました。ビデオ・CD・DVDを置いてある施設は増えていきました。

指定管理者制度の導入については、前回の調査で「検討中」だっ

平成30年度総会

(公民館館長・職員等研修会)

○日時

平成30年5月18日(金)
午後1時から

○会場

大和市文化創造拠点
「シリウス」

○交通

小田急江ノ島線
相模鉄道本線
大和駅 徒歩3分

た市町の内、大和市と寒川町で導入された施設がありました。

各調査項目の詳細なデータは報告書をご覧ください。

編集後記

今回の「公民館かながわ」は、いかがだったでしょうか。平成29年度は「公民館実態調査」という大きな業務がありました。5年に1度の調査ですが、県内の公民館・類似施設の情報を記載していますので、ご活用いただければと思います。

「公民館かながわ」の発行には毎回県内市町村のご協力をいただいております。施設や団体の活動を知っていただく良い機会ですので、今後とも寄稿のご協力をお願いします。

【総務・広報部会】

- 佐藤 忠 (川崎市)
- 小嶋 聡 (綾瀬市)
- 佐藤 勇 (茅ヶ崎市)
- 別府 拓自 (寒川町)
- 加藤 洋一 (中井町)
- 圓谷 武 (愛川町)
- 小菅 聡子 (中教育事務所)
- 露木 光人 (県西教育事務所)
- 鈴木 智久 (事務局)

表紙

川崎市スポーツ・文化総合センター

「カルッツかわさき」

今号の表紙は、平成29年10月1日にオープンした「カルッツかわさき」です。施設の詳細については、7ページに詳しく紹介していますのでご覧ください。

*** 施設案内 ***

住所 川崎市川崎区富士見

1丁目1番4号

電話 044(222)5211

交通 JR川崎駅・京急川崎駅から

徒歩約15分